



# 学校だより



## 令和6年度 全国学力・学習状況調査(4月実施)の結果から

4月に実施された『令和6年度全国学力・学習状況調査結果』の有馬中学校の調査結果について、お伝えします。

### 1. 「教科に関する調査」結果について

#### (1) 平均正答率

	国 語	数 学
有馬中学校	55%	55%
三重県	57%	53%
全国	58.1%	52.5%
全国との差	▼3.1ポイント	△2.5ポイント



#### (2) 各教科の特徴（良かった内容：△ 課題のある内容：▼）

##### 国 語

- △「本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する」記述式問題の正答率は、全国平均を上回っています。
- △「行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選ぶ」選択式問題の正答率は、全国平均を上回っています。
- ▼「話合いの話題や発言を踏まえ、『これからどのように本を選びたいか』について自分の考えを書く」記述式問題の正答率は、全国平均を下回っています。
- ▼「短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える」短答式問題の正答率は、全国平均を下回っています。
- 全体として全国平均を下回っていますが、小学校の調査結果からは、大きく伸びています。中でも記述式問題で、文章をまとめる要約はできるものの、自分の考えを書くことには課題がみられます。

##### 数 学

- △「主張の理由を、5つの箱ひげ図(※)を比較して説明する」記述式問題、同じく「筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる」記述式問題の正答率は、全国平均を上回っています。
- ※箱ひげ図…「箱」と「線(ひげ)」で構成されており、データのばらつきを視覚的に表しているグラフです。データのばらつきを視覚的に表しており、特徴を一目で判断できるようになっています。
- 令和3年度から中学校2年生の数学で学ぶようになりました。
- △「2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める」短答式問題の正答率は、全国平均を上回っています。
- ▼「一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる」選択式問題の正答率は、全国平均を下回っています。
- ▼「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を、式やグラフを用いて数学的に説明することができるかどうかをみる」記述式問題の正答率は、全国平均を下回っています。
- 全体として全国平均を上回っています。一次関数については、苦手な生徒が多い傾向にあります。

## 2. 「生徒質問紙調査」結果について（全国平均との比較）

- △「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」  
<有馬中：77.5% 全国：67.5%>
- △「学校に行くのは楽しいと思いますか」  
<有馬中：98.0% 全国：83.8%>
- △「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか（週3回以上）」  
<有馬中：87.8% 全国：64.4%>
- △「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思えますか」  
<有馬中：97.9% 全国：79.0%>
- ▼「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」  
(守っている) <有馬中：65.4% 全国：72.2%>  
(スマートフォンなどは持っているが家の人との約束がない)  
<有馬中：24.5% 全国：16.8%>
- ▼「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）」  
<有馬中：59.1% 全国：64.3%>

## 3. 今後の取り組みについて

### (1) 授業力の向上

「学ぶ喜びを実感できる授業を目指して」を研究テーマとして、授業研究を行っています。その中で、課題となっている「自分の考えを書くこと」などの改善につながる取組を、各教科を通して今後も継続していきます。



### (2) 読書活動

「朝の読書」活動を通して、読書習慣を確立し、感性を磨き、表現力を高め、豊かな創造力の育成に努めます。

### (3) 「学びタイム」の活用

定期テスト前の5日間「学びタイム」を設け、生徒の学力保障・学力向上に取り組んでいます。テスト前の5日間を設定することにより、生徒の学習意欲を高め、学び合いを行い学力保障・学力向上に努めます。

### (4) キャリア教育の充実

計画的にキャリア教育を実施し、生徒が将来に向けて夢や希望が持てるよう取組を行います。将来の自分をイメージし、今何をすべきか考え中学校生活を充実させる取組を継続して行います。

2学期に入り、3週間が過ぎました。1年生から3年生まで、生徒一人ひとりが、授業に集中している様子をよく見ることができます。「朝の読書」では、時間前には全校着席し、静かに集中しています。特に、1年生は、中学生としての自覚もついており、主体的に行動する姿が、「朝の読書」をはじめ、様々な場面で見られるようになってきました。これらは2・3年生の先輩の素晴らしい見本があるからだと感じています。

今年度の学力調査の結果は、数学が全国平均を上回るとともに、国語も小学校の調査結果から、大きな伸びがみられました。学力調査は3年生だけの結果ですし、学力をこの数字だけで評価してはいけませんが、日頃の授業の様子などが、このような結果につながっているのは間違いのないように感じています。

子どもたちにしっかりとした学力をつけることは、将来の可能性の広がりにつながります。

今回の結果を皆さんと共有し、今後の子どもの豊かな成長につなげていきたいと思えます。引き続きよろしくお願ひします。

有馬中学校 校長 伴 充